

# 「かごしま茶」で“茶いっぺ”いかが？

生産量・栽培面積ともに全国第2位の茶の産地である鹿児島県。県では、「かごしま茶」の消費拡大に向けて、認知度の向上や販売促進などに取り組んでいます。「かごしま茶」で“茶いっぺ”（お茶を一杯）いかがですか？

## 17年連続で産地賞(1位)を受賞！

「第74回全国茶品評会」が、8月25日(火)から28日(金)にかけて、9年ぶりに本県で開催されました。

本県は、「普通煎茶の部」において、17年連続で産地賞(1位)を受賞し、6名の方が農林水産大臣賞をはじめとする特別賞を受賞するなど、素晴らしい成績を収めました。

### 第74回全国茶品評会 主な成績

受賞部門：普通煎茶10kgの部(全国から135点の出品)

#### 産地賞

-  **1位 南九州市**
-  **2位 霧島市**
-  **3位 八女市(福岡県)**



#### 特別賞

農林水産大臣賞	○知覧銘茶研究会 伊川製茶(南九州市)
農林水産省生産局長賞	○知覧銘茶研究会 西垂水茶業(有)(南九州市) ○和幸園製茶(霧島市)
公益社団法人日本茶業中央会会長賞	○株式会社有村製茶(霧島市)
全国茶生産団体連合会会長賞	○有限会社 エイティー(南九州市)
全国茶商工業協同組合連合会理事長賞	○知覧銘茶研究会 前原翔太(南九州市)

## 消費拡大に向けた主な取り組み

県では、多種多様で高品質な「かごしま茶」をより多くの人に味わっていただくため、さまざまな取り組みを行っています。

### おいしいお茶の入れ方教室



県内小学校の高学年生を対象に、日本の伝統文化としての茶に対する関心を高めてもらうため、県産茶を使ったおいしいお茶の入れ方教室を実施しています。

### コロナに負けるな！「かごしま茶」の販売促進

本年は、新茶の出回る4月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、茶の消費が落ち込んでいます。

そこで、県では、本県茶生産者が丹精込めて作った、煎茶や抹茶、紅茶等の飲み比べセットを作成し、各種イベントやホテル、地元企業等を通じて提供することで、「かごしま茶」のおいしさを再確認していただく取り組みを順次展開していく予定です。



### 「かごしま茶」をもっと知りたい！

産地や効能、おいしい入れ方などを紹介する「お茶マップ」を県ホームページで公開中です。



問い合わせ先 県庁農産園芸課 ☎099-286-3200

# かごしまの製造業を支援します

県では、オンリーワン、ナンバーワン企業を多く生み出し、地域経済をけん引する中小企業の「稼ぐ力」を引き出すため、工業技術センターによる技術的支援や補助事業による研究開発などの支援を行っています。

## 工業技術センターによる技術的支援

### 工業技術センターとは

昭和62年に設立された工業技術センターは、本県における「工業技術の拠りどころ」として、工業技術に関する試験研究、調査、指導および研修を行い、県内企業の技術力向上を支援しています。



### 主な業務

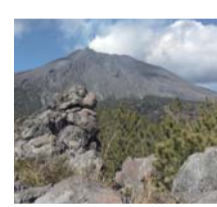
#### 技術支援

- 技術相談・指導
- 依頼試験・分析
- 設備機器の開放
- 人材育成
- 技術情報の提供
- 企業や大学等との連携

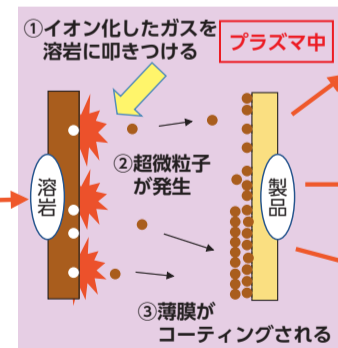
#### 研究開発

- 地域資源付加価値創出**
- 地域資源を活用した製品開発
- 付加価値向上による差別化 など
- ものづくり基盤技術高度化**
- 保有技術を生かした研究開発
- 県内企業の競争力強化 など

### 特許取得 桜島溶岩を利用したコーティング技術



桜島溶岩



プラズマコーティング技術



活用が期待される製品イメージ

工業技術センターのシラス研究開発室が、桜島溶岩を利用した画期的な製造技術を開発し、特許を取得しました。この技術は、さまざまな製品に溶岩をコーティングすることで、金属アレルギーを起こしにくくしたり、汗をより吸いやすくしたりするなどの効果が期待されるものです。今後、県内企業と連携し、技術を生かした高機能な商品開発や実用化を目指しています。

## 補助事業による研究開発などの支援 ※毎年度、公募により実施(今年度は終了)

- 県内中小製造業者の創業・新分野進出の支援
- 重点産業分野(自動車、電子および新成長分野(環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ、航空機関連))に関する研究開発の支援
- 産学官(「産」:民間企業など、「学」:教育・研究機関など、「官」:国・地方公共団体など)が連携した研究開発の支援 ほか

問い合わせ先 県庁産業立地課 ☎099-286-2970 工業技術センター ☎0995-43-5111